

安心・安全なまちづくり対策 特別委員会説明資料

名古屋市青少年交流プラザの運営について

目 次

	頁
1 現状	1
2 今後の取り組み	4

平成29年 1月17日

子ども青少年局

1 現状

(1) 本館

ア 施設の概要

設置目的	社会性及び主体性に富み、人間性豊かで活力あふれる青少年の育成を図る。
開設時期	平成19年7月
所在地	北区柳原三丁目6番8号
開館時間	午前9時～午後9時30分
休館日	月曜日（祝日の場合は直後の平日）、年末年始
延床面積	2,294㎡
施設内容	プレイルーム、音楽スタジオ、活動室、ミーティングルーム、オープンスペース
指定管理者	名古屋ユースクエア共同事業体 構成団体 ・（公財）名古屋市教育スポーツ協会 ・NPO法人ICDS ・特定非営利活動法人 子ども&まちネット
指定管理期間	平成26年4月1日～平成29年3月31日
職員配置	総括責任者1名、副総括責任者1名、事業担当者3名、施設担当者11名

イ 施設利用状況

区 分	平成26年度		平成27年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
プレイルーム	916件	26,431人	968件	27,198人
音楽スタジオ	2,373件	9,084人	2,367件	9,855人
活動室	5,348件	35,609人	5,532件	39,095人
ミーティングルーム	1,388件	10,476人	1,616件	11,803人
オープンスペース	—	49,502人	—	53,634人
計	10,025件	131,102人	10,483件	141,585人

(2) 分館（青少年宿泊センター）

ア 施設概要

設置目的	社会性及び主体性に富み、人間性豊かで活力あふれる青少年の育成を図る。
開設時期	平成21年4月 (昭和58年10月「宿泊青年の家」として開設)
所在地	緑区大高町字蝮池4番地6
開館時間	午前9時～午後9時
休館日	月曜日（祝日の場合は直後の平日。市立小学校の長期休業期間中を除く）、祝日の翌日（土曜日、日曜日等は除く）、年末年始
延床面積	3,430㎡
施設内容	宿泊室、教室、活動室、プレイルーム、音楽室、体育室、野外炊飯施設
指定管理者	(公財)名古屋市教育スポーツ協会
指定管理期間	平成25年4月1日～平成29年3月31日
職員配置	総括責任者1名、副総括責任者2名、施設担当者8名

イ 施設利用状況

区 分	平成26年度		平成27年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
宿泊室	505件	11,592人	502件	11,439人
教室	1,336件	19,092人	1,275件	15,763人
活動室	881件	15,814人	867件	13,650人
プレイルーム	493件	16,188人	497件	15,708人
音楽室	479件	4,290人	488件	3,485人
体育室	777件	20,803人	777件	19,397人
野外炊飯施設	113件	2,709人	116件	3,222人
計	4,584件	90,488人	4,522件	82,664人

(3) 実施事業の状況

青少年の社会との関わり度合に応じて支援する「総合支援プログラム（※1）」に基づく主な実施事業（28年度）

区 分		主な事業
一層目 人につながる支援	青少年が他者との関わりの中で受け止められ、安心して過ごすことができ、自立できるよう支援する。	・カフェの運営体験の要素を兼ね備えた居場所づくり事業 ・ワークショップを通して、人との関わり方を学ぶ、コミュニケーション力向上支援事業 ・就労に必要な知識・スキルを学ぶ、1泊2日の宿泊型就労支援事業
二層目 地域・まちにつながる支援	青少年が地域やまちに接点を持ち、地域やまちの取り組みに参加することを支援する。	・年間を通じて、青少年がプラザ主催事業の企画・運営に携わることで、地域とつながる機会を提供する事業 ・地域の魅力の発掘・発信を通し、地域づくりやまちづくりに貢献する事業
三層目 地域・まちに働きかける支援	青少年が主体的に参画したり、地域やまちに対する意見を表明したりすることを支援する。	・ワークショップを通して、地域の課題に目を向け、青少年自らが改善や解決する手法を考える事業 ・地域やまちに働きかける青少年グループの主体的な活動を支援する事業

（※1）「総合支援プログラム」とは、事業展開の基本方針として、一層目「人につながる支援」、二層目「地域・まちにつながる支援」、三層目「地域・まちに働きかける支援」の三層支援を具体的に展開し、青少年が社会的に自立するため、段階に応じた切れ目ない連続的、重層的に支援するプログラム

2 今後の取り組み

(1) 次期指定管理について

ア 概要

青少年の健全育成を総合的に推進するため、平成29年度から、一の指定管理者が本館と分館を管理運営する。

イ 指定管理者

名古屋ユースクエア共同事業体

(構成団体：(公財)名古屋市教育スポーツ協会、NPO法人 ICDS、特定非営利活動法人 子ども&まちネット)

ウ 指定管理期間

平成29年4月1日から平成33年3月31日まで

エ 施設管理に係る主な提案内容

区 分	内 容	
施 設 の 運 営 方 針	・ 青少年が集う、安全・安心な居場所の提供 ・ 青少年を「パートナー」とした施設づくり ・ 青少年育成に関するネットワークの中核となる施設づくり ・ 青少年の相互・異世代・地域交流の促進	
職 員 配 置	本 館	16名 (内訳) 総括管理責任者 1名 (分館を含む総括) 副総括管理責任者 1名 プラザ事業コーディネーター 2名 事業担当者 5名 施設管理担当者 7名
	分 館	13名 (内訳) 副総括管理責任者 1名 プラザ事業コーディネーター 1名 (本館との兼務) 事業担当者 1名 施設管理担当者 10名

オ 事業に係る主な提案内容

区 分	内 容
一層目 人につながる支援	・生活習慣の改善、職業観・就労観の涵養等を図る長期宿泊事業 ・小中学生向け、生活体験、自然体験、創作体験を通して自立を促す宿泊事業
二層目 地域・まちにつながる支援	・本館に配置する AI ロボットの制御プログラミングを学び、設定係として養成する事業 ・小中学生を対象とした遊び場づくりに携わるプレイヤーを養成する事業
三層目 地域・まちに働きかける支援	・WEB サイトの基礎知識を学び、インターネットを通じて、地域・まちへの情報発信に取り組む青少年を養成する事業
広報等	・「YouTube スタジオ」を設置し、自らの活動を発信したい青少年の、撮影、編集、投稿を支援する事業

(2) 今後、より一層推進することが求められる取り組み

- 青少年の幅広いニーズに応える多様な取り組みを展開し、交流機会の増加を図る。
- 青少年が求める情報の多角的な収集、効果的な発信を行うとともに、青少年による当施設からの情報発信を支援する。
- 本館、分館それぞれの資源や機能を生かして、一体的・総合的に事業を推進し、青少年の社会性や豊かな人間性を育む。
- 当施設で得られた活動経験や学びの成果を、新たな活動や企画に還元する機会を計画的につくり、青少年の育成・支援の循環を図る。
- 青少年の挑戦するプロセスを大切にし、青少年の力をあらゆる場面で活用した運営を行う。